

科目名	地域包括ケア管理学特論		D3-214	担当教員名	前倉 亮治
単位数	1単位		選択	配当年次	1年次・第2 Semester (前半)
曜日・時限	金曜日・5限目		教室	オンライン授業	
授業概要	<p>高齢化が進む日本において、医療・介護が必要な状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を、市町村は2025年に向けて3年ごとの介護保険事業計画の策定・実施を通じて求められている。しかし、個々の患者さんの問題点を各職種が理解し、解決策を提案し実行するための地域包括ケアとはなっていない。患者視点から現状の地域包括ケアの問題点を抽出し、解決策を提案する。</p>				
到達目標	<p>1) 患者個々の病態を理解し、看護および介護の必要度を評価して地域での生活を継続するために必要なケアを提案できる。 2) ケアを実行するための行動計画を作成できる。 3) 元気で長生き出来るための老化予防策を自分で考案できる。</p>				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	9/24	地域包括ケア総論	地域包括ケアの必要性とその大枠を理解する。[実務家教員による授業]		○
2	10/1	地域包括ケアの現状(1)	地域包括ケア構築に向けた制度改正の動向と専門職に期待される役割と課題について理解する。 (特別講師:川越雅弘) [ディスカッション] [実務家教員による授業]		○
3	10/8	地域包括ケアの現状(2)	病院退院後在宅ケアや施設ケアへの移行上の課題、医療保険と介護保険との分担等について、具体的な事例を示して課題等を理解する。 (特別講師:松本康代) [実務家教員による授業]		○
4	10/15	地域包括ケアの現状(3)	地域包括ケアにおける診療所の役割について理解する。 [ディスカッション] [実務家教員による授業]		○
5	10/22	地域包括ケアにおける情報連携	地域包括ケアにおける情報共有のあり方について理解する。 (特別講師:河野洋允) [実務家教員による授業]		○
6	10/29	医療と介護とその予防	医療と介護のつながりと介護予防と疾病予防について理解する。 (特別講師:中辻剛) [ディスカッション] [実務家教員による授業]		○
7	11/5	地域包括ケアの具体例	医療から地域生活・ケアへの転換における看護の役割と現状について理解する。[ディスカッション] [実務家教員による授業]		○
8	11/12	総合討論:課題と解決策	地域包括ケアの現状の問題点を抽出し、解決策を提案し、実行に繋げる。 [ディスカッション] [実務家教員による授業]		○
キーワード		地域包括ケア、医療、介護、予防	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	地域包括ケアシステム 厚生労働省(ホームページ): http://www.nenkinsha-u.org/04-youkyuundou/pdf/kourousyou_roudou_hakusyo_gaiyo_h28.pdf			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①討議への参加貢献度(30%)、②レポート(70%) [①討議への積極性、②患者視点から現状の地域包括ケアの問題点を抽出し、解決策を提案できるか。]			
授業時間外に必要な学修		日々対応する個々の患者のケアから授業内容を理解する。(時間は無限大)			
学生へのメッセージ		患者と家族に焦点を当て、個々に合った適切なケアを構築して提案出来るようになりましょう。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。